

平成 24 年度 傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠 成果報告書

研究費区分	①新規領域創成型					
研究代表者所属	国際文化コース	フリガナ 研究代表者氏名	ヤマダマサヒサ 山田昌久	職	教授	
研究分担者所属	地理環境コース		鈴木毅彦	職	教授	
	生命科学コース		黒川 信		准教授	
	生命科学コース		菅原 敬		准教授	
	生命科学コース		清水 晃		助教	
	社会学コース		石田慎一郎		准教授	
	国際文化コース		谷口 央		准教授	
	インダストリアルアートコース		楠見 清		准教授	
	大学教育センター		小林加奈		特任助教	

研究課題名	学術情報の都民への発信拠点・組織の形成
研究実績の概要（600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。）	
<p>本申請研究は、本学ではこれまでになかった、大学学術情報の外部への発信拠点形成を目指すプロジェクトである。91年館に開設された学芸員養成課程展示室を活用して、都民への学術情報発信拠点整備を模索して、24年度に行った活動は以下のとおりである。①本学への進学を希望する高校生へ向けてのオープンラボ的性格で、展示室を開放しての説明。②随時見学として本学を訪れる高校の学内見学コースへの編入。③地域住民に本学の研究・学術標本の発信として、企画展時・公開シンポジウムの開催。④地域博物館との連携として、三多摩地区公立博物館との連携。⑤ホームページの作成・パンフレットの作成・年度末活動報告書の作成による普及活動。以上の活動によって、本学の学術研究成果の都民への発信に関する第一段階の活動が無事行えた。企画展は生命科学による島嶼部や多摩地域の自然、考古学による縄文集落の年代測定法の新研究＝1年単位の年代値測定法の成功、の2件を行い、見学や講演会への多数の参加を得た。常設展見学と合わせて、総計で2000名弱の都民への発信実績があった。見学者のアンケート調査結果はおおむね好評で、さらなる発信への期待の声が大きかった。博物館から企画展への協力養成の声も上がった。しかし、若干ではあるが当初の計画の中で実行できなかったものがあった。たとえば、データベースの構築に関しては分野間の情報の際が大きく、個別の基礎情報を調査するにとどまったし、小学生へ向けた計画の夏休み期間の自由研究相談会は、スケジュール調整が出来ずに、本年度は見送らざるを得ないことになった。しかし、ほぼ0の段階からスタートした本プロジェクトとしては、一定の情報発信を達成することが出来たことは間違いない。最も重要な点は、本学の多様な分野の教員が恒常的に意見交換をする機会が出来たことで、研究の総合化・複合化の道筋を共有できた点といえる。本学に真の総合研究を進める大学博物館設置のために、教員の意識形成が進んだ点は意義があった。今後は、さらに学内の事務系職員や法人経営サイドの職員へも本活動を広げ、次の段階へ向かう道筋をつけたいと考えている。</p>	

平成24年度 傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠 成果報告書

研究・展示説明。②随時見学として、本学を訪れる考古の見学コースへの編入による説明。③地域住民に本学の研究・学術

- 山田昌久「水利施設・作業空間・編組技術」あみもの研究会シンポジウム 縄文時代の編組製品研究の到達点-地域性と素材に注目して 佐賀県立美術館 2012年10月13日～14日
- 鈴木毅彦「下北半島東方沖「ちきゅう」C9001 コア中の中期更新世テフラ層序とその陸地への応用。」日本地球惑星科学2012年大会 幕張. メッセ 2012年5月25日
- 鈴木毅彦「関東内陸部の第四紀地形変化とテフロクロロジー：テーマセッション趣旨説明とレビュー。」日本第四紀学会2012年大会 立正大学 2012年8月20日
- 谷口央「災害と歴史資料—現状と課題を考える—」コメント」メトロポリタン史学会 首都大学東京 2012年11月17日

論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）

- 山田昌久（共著）『東名シンポジウム記録集 植物利用の源流をさぐる』佐賀市教育委員会 115頁
- 山田昌久「木器研究の広がり—分類・系統研究と効力・加工精度研究」『発掘された木の道具』埼玉県立歴史と文化の博物館 2013年3月 64—67頁
- 山田昌久「実験考古学で検討する出土木器の機能・効力・加工精度」『木製品から見た古代の暮らし』島根県古代文化研究センター2013年1月11—22頁
- 山田昌久「水利施設・作業空間・編組技術」『縄文時代編組製品研究の到達点』あみもの研究会 2012年10月 3—7頁
- 山田昌久「植物処理技術と関連施設」『東名シンポジウム資料集』佐賀市教育委員会 2012年10月 10—13頁
- 山田昌久編著『木の考古学—出土木製品王材データベース』海青社 449頁 2012年10月（執筆章）
- 山田昌久「弥生時代の木工技術と農具生産」『徳落とし神の足跡—農具でひもとく弥生社会』大阪府立弥生文化博物館 110—117頁 2012年9月
- 鈴木毅彦「北関東・東北地方南部のテフロクロロジー：現状と展望（2010年度日本第四紀学会学術賞受賞記念論文）。」『第四紀研究 51巻』日本第四紀学会 2012年4月
- 谷口 央「書評竹井英文著『織豊政権と東国社会—「惣無事令」論を越えて—』」『織豊期研究』織豊期研究会 2012年10月
- 菅原 敬「ムニンハナガサノキとハナガサノキ（アカネ科）—花の性表現とその進化—」『戸部博・田村実（編著）「新しい植物分類学II」』講談社 2012年
- Sugawara, T. 「A taxonomic study of *Asarum celsum* and its allied plants (Aristolochiaceae) distributed in Amami-oshima Island」『Geobot. 62』 Southwestern Kyushu, Japan. Acta Phytotax. 2012年
- M. Kurokawa, Y. Kasuya, and T. Okamoto 「Origin of automaticity and neural regulation of peristalsis in the gastrointestinal tract of *Aplysia* and *Lymnaea*」『Acta Biologica Hungarica 63』 2012年
- M. Kurokawa 「Proton feedback mediates the cascade of color-opponent signals onto H3 horizontal cells in goldfish retina」『Neurosci. Res., doi.10.1016./j.neures.2012.01.008』 2012年
- Shimizu, A. “Brood parasitism in two species of spider wasps (Hymenoptera: Pompilidae: Dipogon), with notes on a novel reproductive strategy.” XXIV International Congress of Entomology (Daegu, Korea), Poster: PS3M326. 2013.
- Kuroshima, H. & Shimizu, A. “Analyses of the mating behavior of the Japanese *Auplopus carbonarius* species-complex (Hymenoptera, Pompilidae).” XXIV International Congress of Entomology (Daegu, Korea), Poster: PS1M030. 2013.
- 清水 晃（2012）「分類形質のもつ意味—クモバチ科の場合」日本昆虫学会第72回大会（町田）
- 牟田和恵・平沢安政・石田慎一郎編「『競合するジャスティス：ローカリティ・伝統・ジェンダー』」『大阪大学出版会 2012年4月
- Ishida, Shin-ichiro 「A confluence of alternatives: The merging of Menmonites and peace projects in Kenya」『in Nanami Suzuki ed., The Anabaptist Idea and the Way of Practicing Care』Senri Ethnological Studies 79 2012年

科学研究費補助金への応募状況、採択状況

- ◆本研究に関連する科学研究費補助金としてすでに採択されているもの
- 山田昌久（代表）平成21～24年度 基盤研究(B) 実験考古学による器具効力と資源利用に関する研究
- 山田昌久（分担）平成23～26年度 基盤研究(A) 年輪年代学に関する総合的研究
- 山田昌久（分担）平成22～24年度 「岩陰遺跡の生命考古学による総合研究」
- 鈴木毅彦（代表）平成22～24年度 基盤研究(C)「関東における全第四紀テフラの層序解明」
- 菅原敬（分担）平成22～24年度 基盤研究・海外学術(A)・小笠原諸島の植物相の起源と進化を分子植物地理学的に探る
- 菅原敬（代表）平成22～24年度 基盤研究(C)・ハナガサノキ（アカネ科）における性表現の多様性とその進化
- 黒川信（代表）平成21～24年度 基盤研究(C) 「消化管の構造と機能の比較生理学的研究」
- 石田慎一郎（代表）平成22～25年度 基盤研究(B) 「ケニアの農村と都市における法の公共性に関する社会人類学的研究」
- 谷口央（分担）平成23～24年度 挑戦的萌芽研究「想定東海地震地域における文書・絵図を基礎とした地盤変化の研究」
- ◆本研究に関係する科学研究費補助金として 応募中のもの
- 山田昌久（代表）平成25～28年度 基盤研究(A) 実験考古学による器具効力と資源利用量算出による先史原始地域社会研究
- 山田昌久（分担）平成25～28年度 基盤研究(B) 岩陰遺跡の動物考古学・考古科地域遺跡群研究
- 小林加奈（代表）平成25～26年度 若手研究(B) 大学展示施設を拠点とした「大学開放」対象年齢の拡張と恒常的活用に関する研究

国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況

- 山田昌久（代表）平成19年度～20年度 三菱財団人文科学研究助成 アジア極東における農耕不受容地域の考古学研究
- 山田昌久（代表）平成20～21年度JFE財団アジア歴史研究助成 日韓打製石斧の比較研究
- 黒川信（代表）平成17～24年度 東京都島嶼農林水産総合センター 受託研究 「藻場の再生・保全にかかわる海洋環境および食害生物の影響調査」
- 谷口央（分担）平成22～27年度 文部科学大臣認定「日本史史料の研究資源化に関する研究拠点」特定共同研究（東京大学史料編纂所）「関連史料の収集による戦国合戦の総合的研究」

その他社会貢献

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]



平成 24 年度 傾斜的研究費（全学分）学長裁量枠 成果報告書

◆公的審議会・委員会等

- 山田昌久 ●国史跡整備等委員（岩手県御所野遺跡・福島県浦尻貝塚・石川県真脇遺跡・鳥取県妻木晩田遺跡・佐賀県東名遺跡・大分県横尾貝塚）、考古学調査機関専門委員（疑似府県埋蔵文化財センター・埼玉県吉見町教育委員会）、博物館開設準備委員会・企画展展示計画委員（島根県古代出雲歴史博物館・岩手県御所野遺跡縄文博物館・埼玉県歴史と文化の博物館・大阪市弥生文化博物館）
- 黒川信 NEDO事業「海洋エネルギー発電システム実証試験研究」に関わる神津島波力発電関係者協議会 委員
- 黒川信 東京都立新宿高等学校 学校運営連絡協議会 委員
- 黒川信 東京都立大島海洋国際高等学校 学校運営連絡協議会 委員 ほか

◆生涯学習支援・普及啓発

- 山田昌久 講演：「植物処理技術と関連施設」 東名シンポジウム 植物利用の源流をさぐる-湿地に残されたもの- 佐賀県立美術館 2012年10月14日
- 山田昌久 講演：「弥生時代の木工技術と農具生産」 夏季特別展「穂落とし神の足跡-農具でひもとく弥生社会-」関連企画考古学セミナー 大阪府立弥生文化博物館 2012年9月8日
- 山田昌久 講演：「縄文人の植物資源利用に関する技術・作業空間について」 石川県埋蔵文化財センター 平成24年度講座 考古学最前線 石川県埋蔵文化財センター 2012年11月10日
- 鈴木毅彦 講演：「首都圏直下型地震と立川断層 - 多摩の活断層研究の最前線」 朝日カルチャーセンター立川講座 立川市ルミネ 41174
- 鈴木毅彦 講演：「銚子巡検：銚子地域に分布する第四紀の連続海成層堆積物とテフラ：屏風ヶ浦に露出する犬吠層群」 日本地質学会関東支部 千葉県銚子市屏風ヶ浦 2012年10月26・27日
- 菅原敬 講演：「牧野富太郎とカンアオイとの出会い、そして新たな展開」 牧野富太郎生誕150年記念シンポジウム 国立科学博物館 41083
- 菅原敬 講演：「牧野富太郎と植物分類学」 牧野富太郎生誕150年記念講演会 練馬区立石神井公園ふるさと文化館 2012年5月
- 菅原敬 講演：「小笠原の植物」 首都大学東京学芸員養成課程展示室企画展「東京の大自然と生命科学研究」記念講演会 首都大学東京91年館 2012年10月27日
- 黒川信 講演：「東京の海の動物たち」 首都大学東京学芸員養成課程展示室企画展「東京の大自然と生命科学研究」記念講演会 首都大学東京91年館 2012年10月27日
- 谷口央 講演：「中津城奥平家文書について」 新城市設楽原歴史資料館秋の特別展「奥平一長篠から中津へ」 新城市設楽原歴史資料館 41223
- 菅原敬 展示企画・制作：「小笠原の植物」 首都大学東京学芸員養成課程展示室企画展「東京の大自然と生命科学研究」 首都大学東京91年館 2012年10月24日～11月6日
- 菅原敬 展示協力：「牧野富太郎とカンアオイとの出会い」 牧野富太郎生誕150年記念展 国立科学博物館、高知県立牧野植物園 2012年6月16日～2013年3月17日
- 黒川信 展示企画・制作：「東京の海の動物たち」 首都大学東京学芸員養成課程展示室企画展「東京の大自然と生命科学研究」 首都大学東京91年館 2012年10月24日～11月6日
- 清水晃 展示企画・制作：「多摩の昆虫たち」 首都大学東京学芸員養成課程展示室企画展「東京の大自然と生命科学研究」 首都大学東京91年館 2012年10月24日～11月6日
- 小林加奈 展示協力（展示計画・展示製作） 首都大学東京学芸員養成課程展示室企画展「東京の大自然と生命科学研究」 首都大学東京91年館 2012年10月24日～11月6日
- 黒川信 講座開催：社会人対象の野外型講座 神津島2012年6月、八丈島2012年11月
- 黒川信 講演会開催：島民対象公開講演会（八丈島）
- 小林加奈 体験イベントコーディネーター： 実験考古学公開実験 石川県鳳珠郡能登町真脇遺跡縄文館 2012年8月26日

◆国際貢献・国際交流

- 黒川信 国際交流プログラム；留学生-日本人学生交流型の学外体験プログラム（伊豆大島、奥多摩および首都大学東京学内）実施
- 石田慎一郎 ケニア国立博物館メル博物館を拠点とする共同研究の企画・運営

研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類・番号	出願年月日	取得年月日

研究分担額

研究代表者・分担者名	所属	金額（円）
山田昌久（代表者）	都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース 歴史・考古学分野	¥2,528,615
鈴木毅彦（分担者）	都市環境学部 地理環境コース	¥100,000
菅原 敬（分担者）	都市教養学部 理工学系 生命科学コース	¥100,000
黒川 信（分担者）	都市教養学部 理工学系 生命科学コース ※10-11月企画展示とりまとめ；生命科学コース3名分を含む	¥771,385
清水 晃（分担者）	都市教養学部 理工学系 生命科学コース	¥100,000
石田慎一郎（分担者）	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース 社会人類学分野	¥100,000
谷口 央（分担者）	都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース 歴史・考古学分野	¥248,350
楠見 清（分担者）	システムデザイン学部 インダストリアルアートコース	¥100,000
小林加奈（分担者）	大学教育センター	¥100,000